



無所属、市民派

政治に思いやりと優しさを

ごあいさつ

みなさん、吉田ます子です。  
約3年前、突然の補欠選挙により、再び県政へ送り出していただきました。

直後、新型コロナによるパンデミックが世界を襲い、冷え込む経済。気候危機に加え、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機、円安、物価高が生活を襲い、加速する人口減少で地域の疲弊は止まりません。加えて、食料や種、肥料を輸入に頼る日本、いつ食料危機に見舞われても不思議ではありません。

これらの危機に、全力、最速で解決の道を切り開き、突き進まねばならないはずの政治は、十分な議論なしに防衛費倍増を即決、「敵基地攻撃能力を持つ」と専守防衛の基本を変えようとしています。いったいこの国はどこへ行くのでしょうか。

私にできることは、みなさまに押し上げていただいた県議会の場で、声を上げ続けることです。子どもたちや孫たちが安心して住み続けていけるふるさとにするために、身近な政治から変えていきたいのです。どうか私にお力をお貸しください。

届け！  
女性の声

よしだ

吉田ます子

後援会

# 吉田ます子の取り組み

## ① 活気あふれる議会に

どの知事にも是々非々。活発な意見が飛び交い、県民の関心の高い議会を目指します。

## ② 危機に備えた地域づくり

食料・エネルギー危機、人口減少、感染症、自然災害に対応できる徳島に。

## ③ みんなが笑顔になれるまで

女性、子ども、高齢者、障がいのある方、性的マイノリティの方々なども、自分らしく生きられる社会に。

## ④ 持続可能な産業を

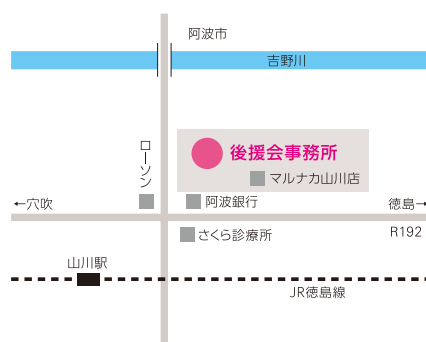
SDGsに配慮したシゴトでいっぱい、働く人も幸せな徳島に。

### 吉田ます子(よしだますこ)プロフィール

1959年	宮崎県西都市の小さな米穀店(後にガソリンスタンドとなる)に、3人弟妹の長女として生まれる。2歳から保育所に。小・中・高校は、地元の公立へ。中・高・大、社会人からママさんまで、バレーボール部に所属。高校ではインターハイ県予選準優勝、正月も練習
1982年	九州大学薬学部卒 バレー部主将、全九州ベスト8、七帝大リーグ戦、優勝2回、準優勝2回
1984年	結婚して麻植郡へ、その後、一男一女に恵まれ、子育てしながら難病の義母を8年介護
1994~1995年	モザンビーク、ザンビアにて国際協力の夫に家族で同行
1996~2000年	パート薬剤師としてヒラオカ薬局勤務
1998~2022年	(医療法人)さくら診療所理事、薬剤師
1999年~	徳島市の吉野川住民投票、市議選、知事選に関わる
2003~2007年	徳島県議会議員(1期目)
2010年~	ドイツのエネルギー政策を視察、徳島小水力推進協議会、徳島再生可能エネルギー協議会、(一社)徳島地域エネルギー設立に関わる
2014~2019年	美郷の湯支配人
2019~2023年	徳島県議会議員(2期目)

### 吉田ます子後援会

〒779-3403  
吉野川市山川町前川191-1  
[マルナカ新店舗テナント]  
電話・FAX 0883-42-2221



## 吉田ます子 2期目の足あと

3年半で116回の委員会にて、413項目の質問と要望を行いました。

県議会の他会派に働き掛け、党派を超えたチームワークで様々な意見書や請願の採択を成し遂げました。

- 女性差別撤廃条約選択議定書について国への意見書
- 核兵器禁止条約の批准について国への意見書
- 不登校児童生徒への支援を国に求める意見書
- パートナーシップ、ファミリーシップ宣誓制度を求める請願

徳島県種子条例制定のために、市民運動と協力してスタートから協議を重ね、自民党会派の協力を得て実現できました!

脱炭素政策や流域治水、有機農業推進について、国の制度に先んじて様々な提言を行いました。(例:地域マイクログリッド、脱炭素促進区域設定、学校給食への有機農産物の導入など)

コロナ対策について、医療現場、介護現場の声を行政に届けました。

同僚男性議員の協力で、県政史上初の「会長・幹事長ともに女性」の交渉会派をつくりました。

4名の女性県議の協力で「徳島県女性議員ネットワーク」が設立しました。



とくしまプライドパレードに参加 (2022.11.6)



国際女性デー第27回徳島県集 (2023.3.8)